

J R 総連通信

2022年1月26日 No.1498

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

沖縄県名護市長選 福島県南相馬市長選 **惜敗!**

1月23日、任期満了に伴う両市長選挙は、JR総連が推薦決定した岸本洋平氏(名護市長選候補者)、桜井勝延氏(南相馬市長選候補者)は、いずれも惜敗という結果に終わりました。ご支援を頂いたすべてのみなさまに感謝いたします。

沖縄県名護市長選、福島県南相馬市長選は、ともに自民、公明両党が推薦する現職が再選を果たしました。岸本氏は「辺野古での米軍新基地建設中止」を求め、桜井氏は「脱原発を掲げて政府の原発再稼働路線を批判」して選挙戦に臨みました。

昨秋の衆議院議員選挙同様、選挙結果が民意だとされれば、辺野古新基地建設容認、原発容認と受け止められ兼ねません。国会では衆・参両院あわせて改憲勢力が3分の2以上の議席を占める危機的状況にあり、岸田首相は憲法改正に強い意欲を示しています。

その意味では、今夏に控える参議院議員選挙は、まさに正念場のたたかいとなります。私たちは、改憲阻止・憲法9条を守り、子どもたちの未来に責任を持ち、原発のない平和で安心して暮らせる社会の実現にむけて「連帯」と「共闘」をこれまで以上に、広範に推し進めていかなくてはなりません。

政治に関心でも無関係ではられません。一人ひとりが責任を持ち、平和・人権・民主主義を守るために、職場と地域から声をあげ、運動をつくり出していきましょう！